

1月16日～31日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
06/01/16 (月)	東京は円安。早朝から冴えないなか、夕方になりLD社の件がNHK速報で報じられ一気に崩れた。欧米は円安もさることながらユーロも軟調。またポンドも弱含み。結果ドル独歩高の様相だった。	・11月の経常黒字14182億円、同貿易黒字7360億円、同鉱工業生産1.5% ・昨年末時点の中国外貨準備高は世界第2位となる8189億ドル	・谷垣財務相「年末年始の為替相場はやや荒い」 ・与謝野金融担当相「今年中にはデフレが終わったと実感できると期待」 ・東京地検がライブドアを証券法違反で捜索	113.87 113.86 115.12 114.95	138.55 138.46 139.43 139.41	寄付 安値 高値 終値
06/01/17 (火)	東京は株価動向に左右される展開。結局日経平均は400円以上下落したことで為替も円安。欧米でも円安止まらず、小幅に続落。ただIEA月報を受けて原油価格が上昇したことがドルの悪材料に。	・12月の米鉱工業生産0.6%、同設備稼働率80.7、1月のNY連銀製造業景気指数20.1	・谷垣財務相「デフレ脱却は数字のみでなく経済実勢見て慎重に判断」 ・IEA月報「06年の世界原油需要は米中が押し上げる見通し」	115.08 114.57 115.94 115.48	139.43 139.05 139.94 139.79	寄付 安値 高値 終値
06/01/18 (水)	東京はこの日も株価動向に左右される展開。株安を受けた円安の流れはこの日も続く。欧米は利食いとおぼしき円買い戻しが優勢。ドル/円は一時高値から1円以上も下落した。	・ライブドア株取引停止、上場廃止の可能性も?! ・日経平均が一時700円を超える急落、取引時間が20分短縮へ ・12月の米CPI 0.1%、11月の対米証券投資891億ドル	・小泉首相「東証取引停止も影響は一時的」 ・スミ ECB専務理事「政策金利水準は低過ぎる」 ・ハイFRB理事「利上げ局面の終局はかなり近づいた」	115.59 114.80 115.90 115.25	139.94 139.22 140.12 139.59	寄付 安値 高値 終値
06/01/19 (木)	東京は株価が大きく反発に転じたものの円相場は冴えず、全体的には積極的な動きに欠けた。欧米はドル買いでスタートするも地政学リスクの再燃などから徐々にドル買い難い雰囲気。	・1月の月例経済報告で基調判断は5ヶ月連続据え置きに ・12月の米住宅着工件数193.3万戸、1月のFF連銀景気指数3.3、また週間ヘース新規失業保険申請者数は27.1万人で5年ぶり低水準	・ビンブレイン容疑者の肉声テープが米国内でのテロ攻撃を警告 ・アトランタ連銀総裁「追加利上げが必要かどうか状況を注視」	115.30 114.93 115.58 115.40	139.59 138.83 139.69 139.61	寄付 安値 高値 終値
06/01/20 (金)	東京は円が小じっかり。福井総裁の発言を受けて海外勢などによる期待買いが集まる格好となった。欧米はドルが冴えない。米経済指標の悪化や米株安に加え地政学リスクの高まりからドルは買い難い。	・日銀が金融決定会合で金融政策の据え置き決定 ・米国産牛肉から危険部位の混入確認される ・1月のミシガン消費者信頼感指数93.4	・福井日銀総裁「量的緩和解除に向け1ヶ月前より前進している」 ・NZ財務相「NZドル建て債の警告、NZドル安誘導に効果あり」 ・一部報道「イランが海外口座からの資産移転を開始した」	115.53 114.96 115.68 115.29	139.68 139.02 139.96 139.89	寄付 安値 高値 終値
06/01/23 (月)	東京は株価が300円以上も下落したことから円小幅安。またイラン外務省のコメントがドル買いを誘っていた。欧米はドル独歩安。NY連銀総裁の発言を受けてドルの売りが加速。一方でユーロが嗜好され調整裡。	・イラン外務省が前日の一部報道を完全否定 ・12月の米景気先行指数0.1%	・NY連銀総裁「増え続けている米経常赤字は世界経済の脅威」 ・イツング ECB理事「物価安定リスクは上昇、必要とあれば行動起こす」 ・オーストラリア中銀総裁「政策金利はかなり低い水準」	115.15 114.15 115.31 114.42	140.11 140.10 141.04 140.79	寄付 安値 高値 終値
06/01/24 (火)	東京は新規材料に乏しいなか円小幅安。投機筋とおぼしき仕掛けから売り込まれる局面も見られた。欧米は総じて小動き。週末からの中国旧正月もあってか高い薄さ、売買手控えムード。	・カタ総選挙開票される、保守党125・自由党102で自由党惨敗 ・11月の第三次産業活動指数0.1% ・カタが25BPの政策金利引き上げ ・1月のリッチモンド連銀製造業指数4	・オーストラリア中銀総裁「中国の通貨変動性移行は中国との貿易赤字を縮小させず」 ・オーストラリア中銀総裁「景気拡大に満足しており、経済成長は予想を上回る可能性がある」	114.46 114.38 114.87 114.70	140.82 140.40 141.07 140.85	寄付 安値 高値 終値
06/01/25 (水)	東京は新外債に絡む円売りが優勢。クロス中心に円が弱含み。ただ輸出企業の円買い意欲も強い。欧米は当初は欧州通貨主導の相場展開でドルは軟調裡。しかし右記の噂などからその後急反発へ。	・1月の独IFO景気指数102.0 ・第4四半期英GDP速報値0.6% ・米有力情報社が「31日のFOMC声明では追加利上げの可能性を示す」とのレポート送信の噂	・スミ ECB専務理事「ECBは利上げに慎重になるべき」 ・アダムズ米財務次官「中国は通貨改革でさらに実施出来ることがある」	115.09 114.64 115.99 115.85	141.13 140.97 142.05 141.82	寄付 安値 高値 終値
06/01/26 (木)	東京は揉み合い。貿易黒字の縮小を受け一時円売りが進行したものの、下げ切れず。欧米は好調な米経済指標に加え、日経報道などもありドル高・円安が加速。一気に1円近い上昇も。	・12月の貿易黒字9139.91億円 ・12月の米耐久財受注1.3% ・日経新聞電子版「日本の個人投資家は外貨資産の保有を望んでいる」	・中国人民銀行総裁「中国は慎重な経済政策を維持」 ・カタ中銀総裁「さらに緩やかな追加利上げを予想する」 ・米大統領「イスラエルの破壊を主張する組織は支持しない」	115.80 115.45 116.53 116.45	141.79 141.60 142.30 142.15	寄付 安値 高値 終値
06/01/27 (金)	東京はインフレ指標がプラス数値になったこともあり円買い優勢。前日までの調整的な動きから円小じっかり。欧米は発表された米経済指標が一転して悪くドル売り先行。しかし続かず、その後は大幅切り替えし。	・12月の全国消費者物価指数0.1% ・第4四半期米GDP速報値1.1%、12月の米新規住宅販売126.9万戸 ・空白のFRB理事2席にケビン・ウォーシュ氏とランドール・クロスナー氏が決定	・小泉首相「全体としてまだデフレは脱却していない」 ・米財務長官「米国経済は引き続き強い」	116.32 116.12 117.45 117.33	142.06 141.70 142.45 141.91	寄付 安値 高値 終値
06/01/30 (月)	東京はレンジ内で小動き。ただ月末外貨投信の設定などもありクロス中心に円は小安い。欧米は再び円が冴えない。翌日のFOMCを控え様子見ムード強いなかIMM筋などの円売りに押された。	・12月の鉱工業生産1.4% ・12月の米個人所得0.4%、同個人消費0.9%、同コアPCE価格指数0.1% ・米大統領が次期CEA委員長にラッパ氏を指名	・ラトMF専務理事「世界経済の見通しは良好で明るい」	117.04 117.01 117.81 117.62	141.68 141.56 142.33 142.20	寄付 安値 高値 終値
06/01/31 (火)	東京は昼過ぎまでドル高。しかし早出欧州勢の参画後はむしろ売り優勢でドルは弱含み。欧米はドルが冴えない。しかし米利	・12月の完全失業率4.4% ・1月の独失業率11.3% ・第4四半期米雇用コスト指数0.8%、1月の米消費者信頼感指数106.3、同	・FOMC声明「ある程度の引き締め政策が必要となる可能性」(慎重なヘース、との文言は削除される) ・米上院本会議がバーナンキ氏をFRB	117.65 116.68 117.79	142.17 141.62 142.68	寄付 安値 高値

上げが決定され、追加利上げの思 惑も残ったことで大きな崩れはなし。	シカゴ購買部協会景気指数58.5 ・FOMCで25BPの利上げ決定	の新議長として承認	117.20	142.46	終値
--------------------------------------	--------------------------------------	-----------	--------	--------	----

* 製作・著作; 「FXニューズレター」 URL; <http://www.fx-newsletter.com/>

FX-newsletter

FX-newsletter